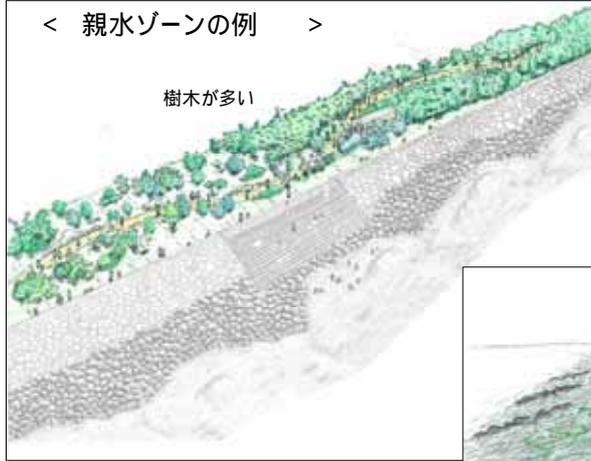


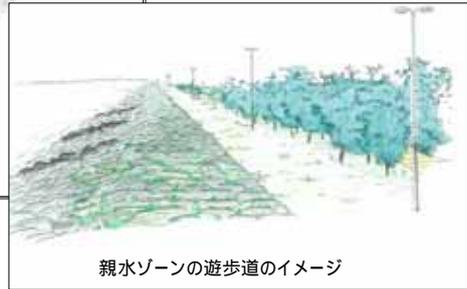
遊歩道のイメージ(案)

< 親水ゾーンの例 >



計画テーマ
・樹木の中の遊歩道

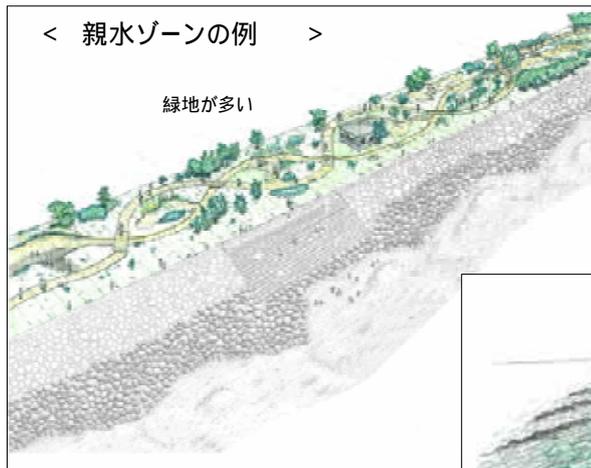
遊歩道の構成
・緑地広場
・樹木(グリーンベルト)
・樹木を通る遊歩道



11

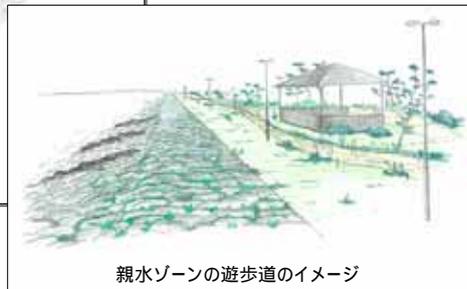
遊歩道のイメージ(案)

< 親水ゾーンの例 >



計画テーマ
・回遊する遊歩道

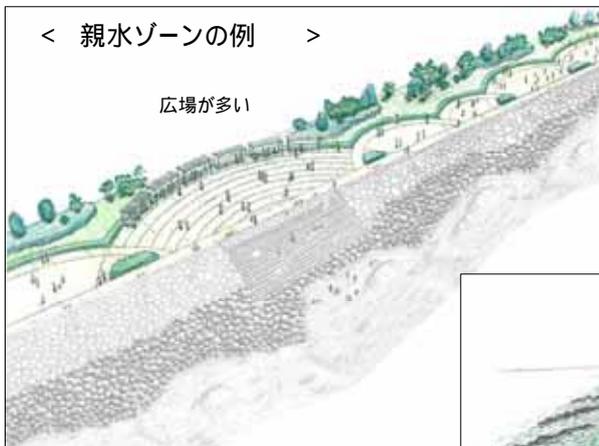
遊歩道の構成
・緑地広場
・交差する遊歩道
・あずまや



12

遊歩道のイメージ(案)

< 親水ゾーンの例 >



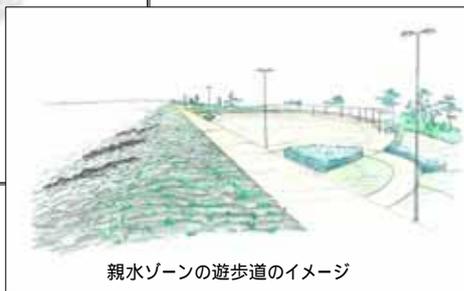
計画テーマ

・広場

遊歩道の構成

・広場

・遊歩道



13

6. バリエーション検討の課題点

(1) 保全ゾーン



保全ゾーンとしての周知・徹底方策の検討が必要。

ルールづくりと周知徹底を！

安全対策を工夫する！



小テラス(展望のみ)
(転落防護柵あり)

階段部の強度確保が必要。
小テラス部の安全対策の検討が必要



木杭等の維持管理方策について検討が必要。

(2) 親水ゾーン

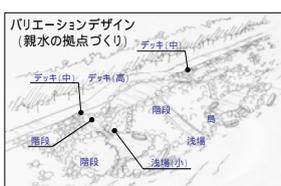


海岸保全区域外となる箇所については、規模・位置の調整が必要。



バリエーションデザイン
(小島)

ワンド状にセットバックするので、防護に必要な護岸断面の確保の方策の検討が必要。

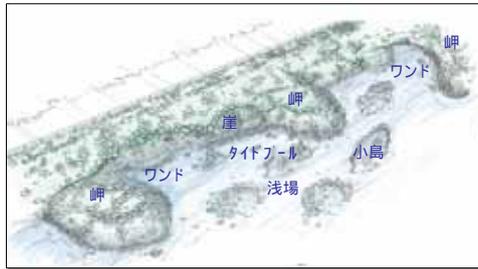


バリエーションデザイン
(親水の拠点づくり)

同上
防護に必要な護岸断面の確保の方策の検討が必要。

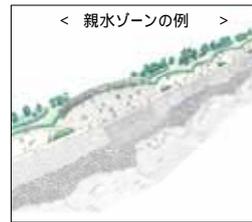
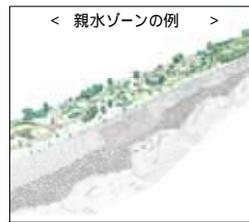
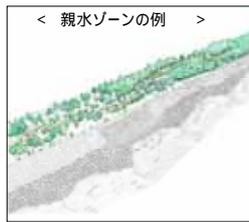
14

(3) マザーゾーン



海岸事業での整備範囲について検討が必要。
維持管理の方法について検討が必要
(メンテナンスフリー?)
構造物の強度を確保する必要がある。
防護に必要な護岸断面の確保の方策の検討が必要。

(4) 遊歩道



利用ゾーンでは背後地計画と調整が必要。
防犯灯の設置や配置について調整が必要。
事業区分について明確にする必要がある。